

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

グループ内の連携強化により顧客ニーズに対応した質の高いサービスを提供し、事業基盤を強化する

売上高
510億円

営業利益
31.5億円

経常利益
33億円

親会社株主帰属当期純
22億円

2 中長期の経営戦略

1. 高機能物流への取組み

国内施設の拡充・高度化で食品・医療分野の取扱拡大。AI・ロボティクス導入による高付加価値物流と省人化。神戸西流通センターを開設し配送効率化と積載率向上に取り組む

2. 海外・国際物流事業の拡大

グローバルに展開する代理店との連携強化。現地法人による高機能物流センター運営と国内外輸送提供。国際物流新規開発営業部署新設でグループ全体の収益向上を目指す

3. グループ経営の基盤強化

グローバルに活躍できる人財育成と強固な財務体質構築。リスク管理・コンプライアンス・ガバナンス強化。DX活用による働き方改革と効率的労働環境の実現

4. 環境への配慮と持続可能性

モーダルシフトや共同配送推進、再生可能エネルギー導入を通じて環境負荷低減し持続可能な社会実現に貢献

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・地政学的緊張や資源価格高止まりによる物価上昇への対応
- ・米中間の貿易摩擦激化によるサプライチェーン不安定化への対応

② 物流業界の人材課題

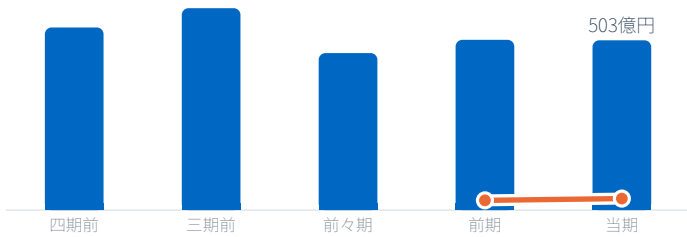
- ・トラックドライバーを中心とした労働力不足への対応
- ・AI・ロボティクス導入による省人化推進

面で使えるポイント

- ・2025年度に売上高510億円、営業利益31.5億円を見込む中で…
- ・神戸西流通センター開設など国内施設拡充により、食品・医療分野の取扱をどの程度拡大する計画か
- ・AI・ロボティクス導入と働き方改革を組み合わせ、トラックドライバー不足にどう対応していくのか

証券コード 9312

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高 503億円	営業利益率 6.8%	財務健康度 47点 / 100点
----------------	---------------	---------------------

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収 647万円 倉庫・運輸関連業内 15位/31社	平均年齢 40.4歳 倉庫・運輸関連業内 23位/31社	平均勤続 15.3年 倉庫・運輸関連業内 20位/31社	女性管理職 16.9% 倉庫・運輸関連業内 4位/26社	男性育休 66.6% 倉庫・運輸関連業内 14位/24社
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

